

平成 19 年 2 月 6 日

沖縄電力株式会社

平成 18 年度第 3 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 3 四半期における当社の販売電力量は、電灯においては、お客さま数が増加したことにより前年同期を 0.3% 上回りました。電力においても、業務用電力などでお客さま数が増加したことなどにより、前年同期を 0.7% 上回りました。その結果、電灯と電力（特定規模需要を含む）の総販売電力量は、前年同期に比べ 0.5% 増の 58 億 23 百万 kWh となりました。

■平成 18 年度第 3 四半期 販売電力量 (単位：百万 kWh、%)

	当第 3 四半期 A	前第 3 四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B
電 灯	2,232	2,227	5	100.3
電 力	3,591	3,565	26	100.7
合 計	5,823	5,792	31	100.5

2. 収支の状況

当第 3 四半期の業績は、2 年振りの増収減益（単体では、四半期開示を始めた平成 15 年以降、初の増収減益）となりました。

収入面では、平成 18 年 7 月の料金引下げや建設業において前年同期に発生した大型民間工事の反動減による影響があったものの、電気事業における販売電力量の増や燃料費調整制度の影響などによる増に加え、その他事業における民間工事などの受注増により、売上高は前年同期に比べ 32 億 98 百万円 (+2.8%) 増の 1,226 億 86 百万円（単体では、3.4% 増、1,149 億 40 百万円）となりました。

一方、支出面では、電気事業における金武火力発電所の償却進行などに伴う減価償却費の減少、他社購入電力料の減少に加え、グループ全体において経営全般にわたる効率化の推進、諸経費の節減に努めてまいりましたが、原油価格の高騰による燃料費の大幅な増加 (+71 億 32 百万円、+28.9%) の影響から経常費用は前年同期に比べ 59 億 65 百万円 (+5.7%) 増の 1,101 億 80 百万円（単体では、6.7% 増、1,026 億 7 百万円）となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同期に比べ 25 億 63 百万円 (△16.3%) 減の 131 億 15 百万円（単体では、16.4% 減、128 億 50 百万円）、四半期純利益は前年同期に比べ 16 億 6 百万円 (△16.2%) 減の 83 億 34 百万円（単体では、16.6% 減、82 億 16 百万円）となりました。

■平成 18 年度第 3 四半期 連結決算成績（増収減益） (単位：百万円、%)

	当第 3 四半期 A	前第 3 四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B
売 上 高	122,686	119,387	3,298	102.8
経 常 利 益	13,115	15,678	△2,563	83.7
四半期純利益	8,334	9,941	△1,606	83.8

■平成18年度第3四半期 単体決算成績（増収減益）

（単位：百万円、％）

	当第3四半期 A	前第3四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B
売上高	114,940	111,171	3,769	103.4
経常利益	12,850	15,380	△2,529	83.6
四半期純利益	8,216	9,855	△1,639	83.4

<主な収支好転要因>

①電灯・電力料の増	37.5億円	（対前年同期 103.4％）
②減価償却費の減	12.4億円	（対前年同期 93.3％）
③他社購入電力料の減	8.3億円	（対前年同期 92.1％）
④支払利息の減	4.1億円	（対前年同期 87.4％）

<主な収支悪化要因>

①燃料費の増	▲71.3億円	（対前年同期 128.9％）
②人件費の増	▲6.6億円	（対前年同期 105.6％）
③修繕費の増	▲5.3億円	（対前年同期 105.6％）
④その他費用の増	▲4.8億円	（対前年同期 103.9％）

3. 業績予想

平成19年3月期の業績予想につきましては、売上高は1,600億円（単体1,475億円）、経常利益120億円（単体110億円）、当期純利益73億円（単体70億円）を見込んでおります。なお、平成18年10月に公表した業績予想より変更ありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	1,600億円 (101.9%)	120億円 (77.7%)	73億円 (73.2%)
単 体	1,475億円 (102.7%)	110億円 (78.2%)	70億円 (76.4%)

※（ ）は対前年度比